



## 国労九州本部拡大委員会開催

### 九州本部拡大委



九州本部 千々岩委員長

長崎での開催となり準備を頂いた長崎地区本部に御礼を申しあげる。昨年移転した、国鉄原爆死没者慰霊碑もこの近くであり、時間があれば見て欲しい。また今回もコロナ禍での開催となり、感染対策を行いながら進めていきたい。4点について報告し九州本部を代表しての挨拶としたい。

### 委員長挨拶

2月6日長崎労金大会議室において、国労九州本部拡大委員会を開催しました。今回もコロナ感染対策をしっかりと行いながら開催しました。大会前段には、労働講座を開催し、「労働組合の役割」について学習しました。また、来賓の長崎県労金中野本部長より挨拶を頂き、中央本部から松川委員長が参加し情勢報告を行いました。

- ①組織拡大強化の闘いについて  
昨年11月、12月と続けて組織拡大をすることができた。関係地区本部の努力について敬意を表したい。2人の拡大の背景には、諦めず拡大を追求してきた結果であり、様々なつながりを大事にし、人間関係を構築してきたことであると思われる。九州本部のHP・SNSを有効活用して欲しい。組合員の減少により組合掲示板も減少している。長崎では牡蠣焼きレクなども計画している。3人目の拡大を目指して、各地区本部は創意工夫して奮闘して欲しい。九州本部内の組織の在り方については、各地区本部の現状も含めて検討していきたい。
- ②2023春闘について  
春闘の要求額については、本部から詳しく説明があると思うが、JR九州は、5回連続の期末手当削減により、若い社員の離職が止まらない現状にある。社長の「充分な手当を支払えば社員の気が緩む」発言があり、組合として抗議してきた。春闘の取り組みとして2月26日から青年・女性・家族中央行動や27日政党要請と春闘総決起集会によるWEB活用や九州本部独自の春闘総決起集会を3月4日に計画している。また労働条件改善署名も今年も取り組み昨年以上の成果をお願いしたい。
- ③平和を守る取り組みについて  
ロシアがウクライナに侵攻して一年が経過しようとしている。現在も戦争は続いているが岸田政権は、台湾問題も

### <労働講座>



本部宮崎総財政部長から、「JRにおける施策の特徴と労働組合の役割」について提起を頂きました。

東日本のケースを基に、効率化の経過とその特徴・分析を年代ごとに示し、近年における労働者・労働組合の特徴、特に組合を無視し「社友会」を基礎にして効率化を進める攻撃について知ることができました。会社は違っても、九州にも当てはまる内容であり、今後の対応に参考となる学習でした。

- ④全国交通共済の移行について  
お知らせしてきた通り、今年7月より「こくみん共済」(全労済)へ全面的に移行される。各組合員に送られてきた内容をきちんと確認して、必要事項を記入し期日まで送って欲しい。引き続きの継続をお願いしたい。